

大谷本廟 無量寿堂 照明プロジェクト セミナー

光と宗教的な空間 —大谷本廟の過去、現在と未来—

日時

2019年9月6日(金) 13:30~15:00

会場

大谷本廟 第一無量寿堂7階 礼拝堂

講演者

- ラングナー寺本・ベッティーナ <本願寺寺務推進会議委員
・ARCHITEKTURRAEUME Design & Consulting Office所長>
- トビアス・デームゲン <「RaumZeitPiraten(時間と空間のパイレーツ)」> 写真左
- 西堀耕太郎 <株式会社日吉屋 代表取締役> 写真右
- 山田 俊 紀 <株式会社三菱地所設計 関西支店副支店長>

参加費
無料

現代アート×宗教×伝統文化



大谷本廟第一無量寿堂において、宗教的施設の広い内部空間が持つ可能性を引き出し、魅力を創出するため制作された照明オブジェが披露されます。作品は、ドイツ人アーティスト トビアス・デームゲンが所属するアーティスト集団「RaumZeitPiraten(時間と空間のパイレーツ)」、建築家のラングナー寺本・ベッティーナ (ARCHITEKTURRAEUME Design & Consulting Office所長)、そして、京都の老舗和傘製造元・日吉屋の五代目当主西堀耕太郎とのコラボレーションにより制作されました。

阿弥陀如来の名前はインドの言葉で「量り知れない光」と「量り知れない命」の意味があります。寺院の本堂や納骨堂の内部空間において、阿弥陀如来の慈悲の光を感じさせるには、自然光の入れ方や照明の計画が重要な役割を果たしています。

この度は照明プロジェクトをテーマに講演会を行います。寺院の未来と照明デザイン、建築とメディアアートに感心のある方にお勧めいたします。



ゲーテ・インスティテュート・ヴィラ鴨川
<https://www.goethe.de/ins/jp/ja/sta/kyo.html>



大谷本廟
<http://otani-hombyo.hongwanji.or.jp/>